



もおかにしちょう

真岡西小だより

(④いさついっぱい ⑤のちいっぱい ⑥んどう・うたいっぱい ⑦ほん・えかおいっぱい ⑧もしやりいっぱい)

もおかしりつ もおかにしちょうががつこう
真岡市立真岡西小学校

令和7年度第4号

2025.7.18発行



ホームページもご覧ください

充実の1学期、終わる

本日、無事1学期が終了しました。子供たちは授業や学校行事に真剣に取り組み、一人一人が着実に力をつけてきました。4月以降、子供たちの健やかな成長を支え、本校教育活動に御協力くださいました保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。



いよいよ明日から44日間の夏休みです。夏は、生命や自然のエネルギーを最も感じる季節でもあります。虫やカエルの鳴き声、スイカの味、草の匂い、川の冷たい水…自然を五感で感じながら過ごす体験は、子供たちの情操や感性を豊かにしてくれます。子供たちには、夏休みだからできることにぜひチャレンジしてほしい、また自分で決めたことを「やり切った」と実感できる夏休みにしてほしいと願っています。

夏休みを迎えるに当たり、子供たちは夏休みの学習や生活の目標や計画を立てました。保護者の皆様には、お子様のやり切った姿をできるだけ家族で共有し、見守り応援していただきたいと思います。9月に子供たちが元気に登校し、夏休みの頑張りや楽しかった思い出をたくさん話してくれることを職員一同楽しみにしています。



この人に聞きました!



西小のみんなが仲良く楽しい時間を過ごせるようにと「なかよし集会」をリードした児童会運営委員お二人です。



私は運営委員として「委員長からの言葉」と「委員会紹介&クイズ」でMeetに出たのですが、話す速度や伝え方を工夫して、全校生に楽しんでもらえるようにがんばりました。当日までたくさん練習し、本番に一生けん命取り組むことができました。悔いのないなかよし集会ができたのも運営委員のみんなが支えてくれたおかげで、全校生が楽しめて成功できました。今回学んだことを、次のなかよし集会や委員会の活動で生かしていきたいです。 委員長 富田絢音さん(6-3)



伊豆 縁さん(6-2)

私は運営委員としてみんなが楽しめることを全力で考えました。1年生には、私たちが西小のためにやっていることを知ってほしかったので、うれしかったです。とてもきんちょうしましたが楽しかったです。当日までほとんどの休みが練習のためになくなり、遊ぶことができませんでした。が、そのがんばりがあって、とてもいい会になったと思います。もっとたくさんのことをしてみなさんと楽しみ、西小をよりよく明るくしたいです。がんばります！

芳賀地区を代表して、6月29日(日)に第41回全国小学生陸上競技交流大会栃木県予選会に出場したお二人です。

私はこの大会で学んだことがいろいろあります。それは、チームの団結力、練習の大切さです。当日、初めての陸上競技場で、私の心は競技場の広さに、のみこまれそうでした。でも、仲間を見て少しきんちょうがやわらぎました。



奥野大翔さん(6-3)

出場にあたっては、先生や両親を始め、多くの人たちに応援していただきました。先生の教え方は分かりやすく、投げ方、跳び方などを教えていただきました。私はこの経験を生かして、中学生でもスポーツをやりたいと思います。 相楽莉衣紗さん(6-4)

リレーでは、みんなでメダルを取るという目標がありました。練習では55秒台が出ていました。当日は5位で予選を通過。ものすごくきんちょうしましたが、みんなで目標のメダルを獲得できました。保護者の方や先生、応援してくださったみなさん、当日は暑い中本当にありがとうございました。ぼくたちががんばれたのは、みなさまの応援とサポートのおかげです。この経験から、みんなを引っぱりクラスで役に立てるような存在になりたいです。

6年 自然教室

6月11日(水)～13日(金)に、自然教育センターでの自然教室(宿泊学習)を行いました。班ごとに野外でカレーライス作りをしたり、クラスごとに学級旗を作成したりしました。友達と協力しながら楽しい時間を過ごし、自然の中でもより良い経験をすることができました。



6-1



6-2



6-3



6-4



【活動の様子から】



「なかよし集会」
なかよし班でクイズ



「なかよし集会」
なかよし班で遊ぼう



3年 社会科校外学習
真岡市役所見学



3年 社会科校外学習
芳賀地区広域行政組合消防本部見学



1年 生活科校外学習
給食センター見学



1年 生活科校外学習
給食センター見学

第2回学校運営協議会が開かれました

7月4日(金)に第2回学校運営協議会が開催されました。当日の主な内容及び話し合われたことは次のとおりです。



- 1 本日の会議のねらいについて(初めての「熟議」に当たって、事務局が説明)

ねらい1 熟議の方法や留意点を理解する。実際に熟議を体験し「話して良かった」「聞けて良かった」を実感する。

ねらい2 「西小の子供にどんな人になってほしいか」などについて話し合うことで、互いの思いを確認する。

- 2 議事 (進行:塚田会長)

- (1) 「目指す児童像」実現に向けての取組(説明)

校長が、目指す児童像「自信をもって○○している」(【エイ】)の実現に向けた、主に授業中の取組を紹介。

- (2) 熟議

「熟議」の方法やルール、留意点(事務局より説明)

「熟議」…熟慮と議論を重ねながら課題解決を目指す対話のこと。学校運営協議会における話し合いを、そう呼ぶことが多い。

熟議1 テーマ「昔の子供のいいところ、今の子供のいいところ」

※3~4名の班に分かれて実施

各班で次のような話が聞かれた。(主なもの)

【昔の子供】	・自由気ままで、勉強以外の時間がたくさんあった。 ・健康的で、よく食べよく眠った。 ・良いことも悪いことも、上の子たち(ガキ大将とか)から教わった。	・何もなかったので、何でも自分で作った。 ・体力があり、活発だった。
【今の子供】	・学ぶ機会が多く、いろいろなことを知っている。 ・多くの情報を得て、生活に生かしている。 ・多様な趣味・特技。自分の好きな事にこだわりがある。	・行儀が良い。清潔。 ・おしゃれ。



熟議2 テーマ「西小の子供にどんな人になってほしいか」「そのために何ができるか」

- いろいろな情報が飛び交う世の中になっているので、多くのことに目を向けて、チャレンジする人、諦めないでチャレンジし続ける人になってほしい。そのためには、子供がチャレンジしたいと言える環境を作ること、興味を引き出してあげることが大切。大人ができることは、子供がチャレンジした際、指図しそうないように注意しながらサポートをする、自分の失敗談を開示する、失敗できる場を作つてあげること。
- 自分で物事を考えられる人になってほしい。それを考える上で、いろいろな人がいてその人たちの気持ちが分かる人になってほしい。そのためには、失敗と分かっていても挑戦させたい。私たち大人は、子供から信頼される大人になって、周りに頼ることをしたい。
- 物事を考えることで、自立する人、たくましい人、どんな困難にも耐えられる心と体をもつてほしい。失敗を調整することで学んでほしい。
- たくさんの夢をもつてほしい。そのためには、大人が夢や希望をもつて、キラキラした手本でありたい。自分自身が人生を楽しむなど、子供の目標でありたい。
- 子供たちには「生きる力」をもつてほしい。それは、たくましさ、危険予知も含め、生きるために最低限、食べて寝て自分で生活するという基本的な力。そのためには、火を起こす、ナイフで切るなど、子供の体験、経験値を増やすこと。市自然教育センターの取組は素晴らしい。地域の役割としては、子供の体験活動をサポートする。その際、親自身が活動を「楽しい」と思うような企画が大切。

- (3) 振り返り

※熟議に参加しての感想や学んだことなど、委員から次のような声があった

- (子供たちに)チャレンジする気持ちやたくましさを求めているのは、みんな思いは同じ。
- お互いの考えが付箋紙に「見える化」でき、よく分かった。
- 話す・聞いてもらうことの大切さを感じた。(お互いの理解につながる)
- 1つの声から話が発展して、多種多様な考え方できた。昔のことを思い出すこともでき、楽しい時間だった。
- 地域が教育に立ち入るのはあまりないこと。子供の育ちにどう関わるか、熟議を通して分かった。
- 子供は、いろいろな人ととの関わりの中で、褒められ、光る。地域ぐるみで子育てする大切さを改めて感じた。
- 世代が違っても、同じ思いをもっていることが分かった。共通の思いは、柱となるところなので、今後太くしていけたら。
- 今回の話し合いをきっかけ(話題)にして、磨き上げることが大切。

